

ウクライナ避難民支援

大仙市・奥羽山荘経営 佐々木さん

渡航費用など寄付募る

大仙市太田町の川口温泉奥羽山荘を運営する佐々木正光さん(71)＝同市刈和野＝が、ウクライナから日本への避難民を支援しようと寄付を募っている。山荘に募金箱を置いたほか、売店でウクライナの隣国・モルドバ産のワインを

販売。寄付金とワインの売り上げの一部を渡航費用などに充ててもらう。

佐々木さんは約30年にわたり、ウクライナのチェルノブイリ原発事故の被ばく者支援に取り組んできた。「同じ斯拉夫民族同士で争うなんて今



ウクライナで展示された起き上がり小法師とモルドバ産ワインを手にする佐々木さん＝大仙市の奥羽山荘

でも信じられない。ウクライナには何度も通っているのに、元の暮らしぶりも知っていない。ロシアの侵攻による、あまりにも悲惨な現状を見て手を差し伸べたいと思った」と話す。

ウクライナからの避難民向けに、佐々木さんが社長を務める佐々木興業(大仙市)の社宅1棟を用意。既に知人のつながりで、身元が確定した2人の入居を計画しているという。

募金箱は奥羽山荘の入り口ロビーに設置。箱の周りには、以前ウクライナの子どもたちが給付けし、2017年に首都キエフで展示された福島県の民芸品「起き上がり小法師」を並べた。

山荘の売店では、モルドバ産のワイン5種類を約3千～4千円で販売。大仙市大曲浜町のカネトク酒市場にも協力を依頼し、同店でも取り扱っている。いずれも売り上げの1割をウクライナ避難民の支援に充てる。

寄付に関する問い合わせは一般社団法人・人財バンク(佐々木興業内) ☎0187・75・2626

(佐藤将弥)